

## 気仙沼市・東京海洋大学連携事業「“海と生きる”連続水産セミナー9thシーズン」がスタートします

- 気仙沼市と東京海洋大学は、連携協力に係る協定に基づく取り組みの一環として、第9期となる連続水産セミナーを開催します。
- 本シーズンにおいては、水産物の川上から川下までの流通、水産エコラベル、トレーサビリティ等を中心に、水産に係る広範な事項について、日本で唯一の海洋に関する総合大学である東京海洋大学の知見を活かし、かつ、学・民・官の幅広い講師陣による公開講座を企画します。
- 第1回セミナーを12月5日(月)に開催します。  
本セミナーは、本市の水産関係者に幅広く参加していただくため、カツオ・サンマ等の盛漁期を避け、12月～5月を中心に月1回程度開催しており、8thシーズンでは3回開催しました。
- 今回の講座は、一般社団法人マリン・エコラベル・ジャパン協議会会長 垣添直也氏(日本水産(株)元社長、元東京海洋大学理事)が、『「水産エコラベル新時代」にどう向き合う?』のテーマで、オンライン配信します。
- 環境、資源、気候変動など、人類は「かつてない変化」に直面している中で、人や社会・環境に配慮した消費活動＝「エシカル消費<sup>※1</sup>」への関心が高まり、「水産エコラベル新時代」を迎えています。日本の地理的、生物的、文化的多様性を踏まえ、国際標準化を一步一步実現しながら「日本発の世界が認める水産エコラベル」を目指しているMEL<sup>※2</sup>など、水産エコラベルの最新情報についてご講演いただきます。  
※1 エシカル消費：地域の活性化と雇用等も含む、人や社会・環境に配慮した消費活動(環境省)。フェアトレード、エコラベル、人権侵害、地産地消等。  
※2 MEL：マリン・エコラベル・ジャパン Marine Ecolabel Japan。小規模事業者が多種多様な魚種を利用している我が国水産業の実態等に対応した水産エコラベルの規格・認証制度であり、漁業、養殖、流通加工をカバーしている。一般社団法人マリン・エコラベル・ジャパン協議会が策定・運営する。
- 講座の概要は下記のとおりです。

### 【第1回講座の概要】

- 1 日 時 12月5日(月)午後3時から5時まで
- 2 場 所 気仙沼市水産研修センター2階 研修室
- 3 テー マ 『「水産エコラベル新時代」にどう向き合う?』
- 4 講 師 垣添 直也 氏(一般社団法人マリン・エコラベル・ジャパン協議会会長、日本水産(株)元社長、元東京海洋大学理事)
- 5 主 催 気仙沼市・東京海洋大学
- 6 受講方法 ①か②のどちらかを選択することができます。  
① オンラインで受講(We b e xにて配信)  
② 水産研修センター研修室で受講(大型モニターで視聴)
- 7 問合せ先 気仙沼市産業部水産課 【担当】吉田 TEL22-3435  
東京海洋大学三陸サテライト 【担当】小松 TEL29-6719

なお、これまでの開催実績は裏面のとおりです。

「“海と生きる”連続水産セミナー」開催実績（第5期～） ※所属等は開催当時のものです。

【第5期】

第1回 H30.12.6	テーマ：「世界の漁船漁業と漁船員教育の現状」 講師：酒井 久治（東京海洋大学 海洋資源エネルギー学部門 教授）
第2回 H31.1.24	テーマ：「選ばれる日本」を目指す労働力確保と育成の視点 ～外国人労働力に支えられる日本の水産業の未来を考える～ 講師：小松 俊明（東京海洋大学 グローバル教育研究推進機構 教授）
第3回 H31.3.15	テーマ：「正しい冷凍技術の理解と新規水産事業展開の可能性」 講師：鈴木 徹（東京海洋大学 食品生産科学部門 教授）
第4回 H31.4.15	テーマ：「水産業の成長産業化と新しい資源評価・管理」 講師：田中 健吾（国立研究開発法人 水産研究・教育機構 理事）
第5回 R元.5.22	テーマ：「海洋プラスチックごみに関する調査研究の現状と課題」 ～マイクロプラスチックについて分かっていること、まだ分からないこと」 講師：東海 正（東京海洋大学 理事（教育・国際担当）兼副学長）

【第6期】

第1回 R元.12.5	テーマ：「最適航路の考え方と自動運航船の現状」 講師：庄司 るり（東京海洋大学 副学長（学生支援・広報担当））
第2回 R2.2.15	テーマ：「環境技術と水産業」～環境事業への取組みのきっかけと環境コンサルタントの必要性 講師：田畑 日出男（いであ株式会社代表取締役会長・一般社団法人薬水会会長）

【第7期】

第1回 R2.11.27	テーマ：「スマート水産業の可能性と課題—電子商取引を中心として—」 講師：婁 小波（東京海洋大学 海洋政策文化学部門 教授）
第2回 R3.1.14	テーマ：「水中ロボットを使った水産業とその未来：持続可能な地域産業と豊かな海へ」 講師：和泉 充（東京海洋大学 海洋資源エネルギー学部門 教授）
第3回 R3.3.10	テーマ：「IUU（違法・無報告・無規制）漁業の問題とこれからの漁業・資源管理—水産政策の改革を踏まえて—」 講師：松井 隆宏（東京海洋大学 海洋政策文化学部門 准教授）
第4回 R3.6.7	テーマ：「水産情報のスマート化—漁業情報サービスセンターの取組み」 講師：和田 時夫（一般社団法人 漁業情報サービスセンター 会長）外6名

【第8期】

第1回 R4.3.23	テーマ：「世界の海で何が起きているのか」 講師：森下 丈二（東京海洋大学 海洋政策文化学部門 教授）
第2回 R4.4.14	テーマ：「地球温暖化と海～日本と世界の海で何が起きているのか」 座長：神田 譲太（東京海洋大学教授・日本海洋学会会長） 報告：「漁業の現場で今何が起きているのか」 齋藤 徹夫（気仙沼漁業協同組合 代表理事組合長） 「地球温暖化による海の変化とその影響」 須賀 利雄（東北大学大学院理学研究科 教授） 「地球全体のスケールで二酸化炭素を考えることの重要性と海洋」 野尻 幸宏（前 弘前大学理工学研究科 教授） 「酸性化が進む海～遠い北極海・身近な東京湾～」 川合 美千代（東京海洋大学学術研究院 准教授） 「地球温暖化が水産資源にどのような影響を及ぼしているか」 北門 利英（東京海洋大学学術研究院 教授）
第3回 R4.6.7	テーマ：「日本の漁業・水産業に何が起きているのか—その要因と今後を考える」 講師：松井 隆宏（東京海洋大学 海洋政策文化学部門 准教授）